

# くしろ市議会だより

News from Kushiro City Assembly



くしろ市議会だより

2023年2月 No.77

委員会審査ピックアップ……………1P  
本会議(質疑・一般質問)……………2P  
委員会審査ほか……………3P  
定例会審議結果ほか……………4P

くしろの市民の皆さんと  
くしろ市議会の  
懸け橋となる情報紙



令和4年12月定例会が開催されました。今議会の概要をお伝えします。

**Pick Up!**

## 議会ICT化に向けタブレット導入



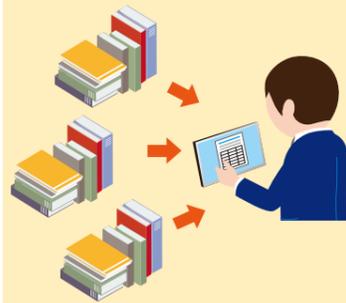
12月7日 本会議の様子  
(タブレットの画面に資料を表示して、提案説明を受けています。)

12月定例会から、タブレット端末と文書共有システムを利用した本会議や委員会の審議が始まりました。今回は印刷物を併用した試行実施となりましたが、2月定例会からの本格実施に向けて、積極的に端末等の利活用を進めていきます。

### タブレット端末と文書共有システムによる審議

議会運営の効率化を図ります

今まで各議員には議案書と所属委員会の資料が紙で配付されていましたが、今後はこれらのほか全ての委員会などの資料(1定例会で約2,000ページ分)を手元の端末で閲覧できるようになります。



ICT化とは…情報通信技術を活用してコミュニケーションを円滑化し、サービス向上などに生かすこと。

**Pick Up**

### 多様な性に対する理解の促進を

総務文教常任委員会 三木 均 委員長

多様な性への理解を深め、個々の生き方を尊重し、自分らしく生きられるまちをつくるための取り組みについて、質問がありました。

委員会での主な質疑

Q 個人を尊重する教育推進のため、性の多様性への適切な支援等について教育推進基本計画に項目を設けるべきではないか。また、市職員が多様な性に対する理解を深め、窓口対応や職場づくりをするために、職員向けのガイドラインを作成すべきではないか。

A 同計画における児童生徒の性の多様性への適切な支援や配慮に係る記載については、改めて策定委員会で議論をお願いしたい。また、職員向けガイドラインの整備を進めるため、先進事例等の情報を収集している。

**Pick Up**

### 日本製紙跡地におけるサケ類の完全閉鎖型陸上養殖事業実証試験の内容は

経済建設分科会 秋田 慎一 委員長

日本製紙釧路工場跡地で行われる陸上養殖事業実証試験に対する事業費として、令和5年度の債務負担行為を含む補正予算が提出されました。

分科会での主な質疑

Q 水産課等で組織している養殖事業調査研究協議会と連携した事業として進めているのか。また、実証試験の内容と管理方法についてはどのようになっているのか。

A 協議会とは別事業として進んでいるが、経過も含め、水産課とは常に連携している。今後、完全閉鎖型陸上養殖システムの厳冬期稼働調査等を行う予定であり、管理については、事業者が本社(滋賀県)からリモートで行い、突発的な対応等は、日本製紙釧路事業所と連携して対応する予定である。

**Pick Up**

### 第1回 くしろパラスポフェスタの参加状況は

民生福祉常任委員会 佐藤 勝秋 委員長

令和4年11月13日に第1回くしろパラスポフェスタ(障がいのある人もない人もみんなが楽しめるスポーツイベント)が開催され、ポッチャ競技の選手、大会従事者を含め728人の来場がありました。

委員会での主な質疑

Q 民間で開催しているポッチャ大会等は、ここ数年新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっているが、本大会では参加状況はどうであったか。

A 一般来場者やボランティアなど多くの参加があり、盛況に終わったと感じている。一方、ポッチャ競技に参加した障がい者の方は33名と若干少ないという認識はある。来年以降、参加者数の増加に向けた対応について検討していきたい。



次回の2月定例会は2月24日(金)午前10時から開会の予定です。

発行/釧路市議会 編集/議会広報特別委員会 釧路市黒金町7丁目5番地  
Tel.31-4581 Fax.23-7679 E-mail: gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

ホームページ  
<https://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html>

フェイスブックページ  
<https://www.facebook.com/kushiroshigikai>

# 本会議

質疑・一般質問

■議員13名が「市の一般事務」について、日頃から感じている疑問や、新たな行政課題への対応など、それぞれの視点でテーマを決めて質問しました。

## 12月7日(水)



公明党  
松原 慶子  
議員



「子どもの通院医療費の無償化拡充を」

**問** 支所廃止に係る議案が提出され、廃止による削減効果が約8,500万円と提示されている。この効果額を子どもの通院医療費の無償化拡充に使うべきではと考えるが見解を聞きたい。

**答** 本来、子どもの医療費助成などの社会保障制度は、国の施策により、どこに住んでいても同様の仕組みであることが望ましいものの、道内主要都市の取り組みと比較しながら制度を整えていくことも必要と考えている。ついては新年度から、中学生までの通院医療費の無償化と併せ、所得制限の撤廃の実施に向け検討している。



自政ク  
伊東 尚悟  
議員



「中部地区に雪捨場の新設を」

**問** 釧路地区の雪捨場は、西部地区に3カ所、東部地区に1カ所開設されているが、排雪作業を担う事業者は、燃油価格の高騰で厳しい状況にもあり、作業効率を上げるためにも中部地区に新設できないか。

**答** 現在の4カ所の雪捨場については、釧路地区全体の雪を受け入れる容量を有しており、これを維持していきたいと考えている。その上で、近場の雪捨場のニーズや利便性、効率性の観点から、中部地区への設置は有効と捉えており、関係機関等と検討していきたい。



市民連合  
板谷 昌慶  
議員



「難病患者への行政の支援を」

**問** 難病患者支援として、難病見舞金を支給する自治体もある。市としても支援が必要だと考えるが見解を聞きたい。

**答** 難病患者への支援については、現在国で、地域における支援体制の強化等、難病対策支援の見直しを進めている。市としては、国の制度改正の動向を注視しながら情報収集に努め、対応していきたいと考えている。



創志会  
栗屋 剛  
議員



「地方から正義の声を上げることはできないか」

**問** カルト問題に関する政策やGoTo政策が悪政・失政と言えるかは評価が分かれるが、一般論として、仮に国に悪政・失政がある場合、地方から国に対して「おかしいことはおかしい」と正義の声を上げることはできないか。

**答** 地方と国の関係については、それぞれ担うものが違い、役割分担がなされているものと認識している。一方で、現行の政権の政策は、国民の信託を受けた議員が国民の代理として政治を行うもので、その評価は国民が判断するものと考えている。

## 12月8日(木)



共産党  
西村 雅人  
議員



「原油価格高騰対策助成事業の継続を」

**問** 昨年度、原油価格高騰対策助成金が支給されたが、今年は昨年以上に灯油の値段が上がっている。今年も事業を継続すべきではないか。

**答** 今般の原油価格や物価の高騰が、暮らしや社会活動に大きな影響を及ぼしていると認識しており、今年度はライフラインである上下水道基本料金の免除や、子育て世帯を支援する学校給食費の一部減免などに取り組んでいる。現在、国の総合経済対策等が行われており、その動向をしっかりと注視していきたい。



公明党  
河合 初恵  
議員



「市営住宅への若年単身者の入居を」

**問** 市営住宅への入居については、60歳以下でも可能とのことだが、単身高齢者の入居を優先しても、上階の4階5階は空きがある状況である。そこにコロナ禍でバイトが減った大学生の入居を可能にしてはどうか。

**答** 若年単身者の入居については、「若年単身入居資格」を別途提示し対応している。この仕組みは、市が過疎地域活性化特別措置法の指定地域によって当分の間認められているものであり、勤労学生であれば入居申し込みは可能である。



自政ク  
大澤 恵介  
議員



「スタートアップ支援に全力で取り組みを」

**問** 国が政策を総動員して進めているスタートアップ支援について、北海道で一番の取り組みである「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」に参画するなど、市でも全力で取り組むべきではないか。

**答** スタートアップへの支援は、地域産業の振興や企業誘致といった課題の解決に有効なものと考えており、市内企業の経営者で構成する釧路産業クラスター創造研究会と連携して事例の研究などを行っている。まずは、議員お示しの協議会への参画について、協議会会長である札幌市に相談していきたい。



創志会  
大越 拓也  
議員



「地域における医療体制の維持を」

**問** 市内に開業医の数が少なく、特に小児科医と精神科医が顕著である。地域医療体制の維持、向上に向けた支援の取り組みが肝要と考えるが、見解を聞きたい。

**答** 釧路市医師会から、小児科の開業医の高齢化が進み、将来の医療体制を危惧していることや、精神科においては一つのクリニックの閉院等により、新規の予約が取りにくい状況にあると伺った。こうした状況の中、支援に関する要請を受けたことから、新年度の予算編成で小児科と精神科の開業に対する助成制度の創設に向け、検討を進めている。

## 12月9日(金)



自政ク  
草島 守之  
議員



「スポーツの各種大会、合宿誘致の動向は」

**問** 今年度のスポーツの各種大会や合宿で、釧路に訪れている団体や人数などの実績と今後の動向について聞きたい。

**答** 11月末時点で、82団体2,090人が来釧し、おおむねコロナ禍以前の水準まで回復している。団体の特徴として、陸上競技が13団体まで増えており、当市の冷涼な気候や施設環境の充実が評価された結果であると受け止めている。今後は、全国高等学校総合体育大会アイスホッケー競技大会が予定されており、事前合宿が一定程度実施される可能性があるものと考えている。



創志会  
松尾 和仁  
議員



「支所の廃止に伴う対応策について、市民の混乱は」

**問** 支所の廃止に際し、4つの対応策が示されたが、どの程度理解されているのか疑問が残る。この対応策をもって支所を廃止しても混乱はないと考えているのか。

**答** 今回示した対応策は、住民説明会で伺った意見を検討した上でのものであり、しっかりと周知に努めたい。支所廃止後においても、混乱や不自由が生じないよう適切に対応し、問題が生じた場合には、市民サービスの低下を招かないよう適切に対応していきたい。



共産党  
村上 和繁  
議員



「西部・中部地域にも津波避難施設の整備を」

**問** 市は大楽毛地域の津波対策として、避難機能を備えた2つの複合施設を作ると発表した。建設に係る国や道の補助金額が増えたことから、大楽毛を除く西部地域、中部地域においても、津波避難施設を整備すべきではないか。

**答** 現在、市内の避難場所は、12月に追加指定した40施設を含め153カ所あり、さらに30施設以上の建物所有者と交渉を行っている。まずは避難困難地域の解消を最優先に考えており、指摘の地域を含め、既存施設を活用した避難場所の確保を基本とした取り組みをしっかりと進めていきたい。



共産党  
梅津 則行  
議員



「美原地域への食品スーパーの誘致は」

**問** 美原地域唯一の食品スーパーが令和4年2月に閉店し、1年近くが経過した。今後の見通しについて、現在どのような情報を得ているのか。

**答** 地域の協議会や団体等から、「スーパー存続」と「生鮮食品店の誘致」についての要望を受け、釧路市東部漁協に青空マーケットの開催をお願いするとともに、店舗の所有者等と情報交換を行ってきた。直近の情報交換の中で、店舗の所有者から、ドラッグストアと賃貸借契約を締結し、来年夏ごろに開店する予定との報告を受けている。

市議会ホームページで発言通告  
一覧をご覧ください。



用語解説

※1 スタートアップ

(自政ク 大澤議員)

新しいビジネスモデルを考えて、新たな市場を開拓し、社会に新しい価値を提供したり、社会に貢献することによって事業の価値を短期間で飛躍的に高め、株式上場や事業売却を目指す企業や組織。

※2 パブリックコメント

(共産党 工藤議員)

市民意見提出手続のことで、市の基本的な政策となる計画や条例を策定するとき、市民から意見を募集する制度。



共産党  
工藤 正志  
議員



※2 「パブリックコメントの結果に対し、丁寧な説明を」

**問** 支所・分室廃止の条例改正に係るパブリックコメントの結果が「反対」と「その他の意見」合わせて99.7%であったにもかかわらず、意見募集結果公表の3日後には、この条例改正案を提出する意思が示された。結果に対し、市民に一つ一つ丁寧に説明すべきではないか。

**答** 日々、いただいたご意見を集計し、回答を検討してきた。パブリックコメントや住民説明会でいただいたご意見に対し、4つの対応策を講じることとしたもので、丁寧に対応しながら、しっかり検討し進めている。

皆さんの意見を募集します

釧路市議会個人情報保護条例の  
制定について

内容	国の法律の改正後においても、市議会として引き続き個人情報の適正な取扱いを確保するため、新たに条例を制定するもの。
募集期間	～2月16日(木)
原案の公表場所	市役所・各行政センター市政情報コーナー、各支所、市議会ホームページ、市役所2階議会事務局
意見の提出方法	住所、氏名、電話番号を記入の上、メール、郵送、信書便、ファクス、持参で提出してください。様式は問いません。
提出・問合せ先	議事課総務担当 〒085-8505 黒金町7-5 TEL 31-4581 FAX23-7679 gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

右のQRコードから詳細を  
ご覧になれます >>



委員会審査

今定例会では、予算決算特別常任委員会と3常任委員会および2特別委員会の審査を行いました。1面に掲載した委員会以外の審査内容をお知らせします。

予算決算常任委員会

酒巻 勝美 委員長

各分科会において、補正予算に関する付託議案について審査を行いました。

主な審査項目

- 施設警備などの業務委託に係る債務負担行為
- 北海道赤潮対策緊急支援事業およびウニ漁の状況
- 高鮮度高付加価値化・6次産業化推進事業
- サケ類の完全閉鎖型陸上養殖事業の実証試験
- 国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策事業
- 支所等の廃止に伴うマルチコピー機の導入
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業

石炭対策・関連エネルギー  
調査特別委員会

月田 光明 委員長

コロナ禍で炭鉱技術研修に  
来られない研修生への  
対応は

**Q** 現在、釧路コールマイン(株)が実施している『産炭国に対する石炭採掘・保安等に関する技術移転等事業』の研修について、今後、来日できなくなった研修生への研修方法や対応についてはどのようにするのか。

**A** この研修は、実際に現地体験していただくことを前提としているため、まずは来日に向けて準備を進めるが、万が一来られない場合は、リモートを活用するなど、状況を見ながら対応していくことになる。

都心部市街地整備  
特別委員会

大澤 恵介 委員長

「釧路都心部まちづくり計画」  
バス専用道路の配置案につ  
いて十分な検討と説明を

**Q** 北大通と共栄新橋大通を接続するL形のバス専用道路については、十分な検討を経て提案されたものと受け止めてこれまで議論してきたにも関わらず、今になって形状の異なる新たな案が示された。今後変更が生じ得るのか。

**A** 都心部を車優先から人と公共交通中心の空間に変えていくという考え方は堅持しつつ、各種概略設計等を行いながらさまざまな検討を進めている段階の案であり、道路や施設の配置等は今後変わる可能性がある。

議案第87号 民生福祉常任委員会

支所設置条例の一部改正についての議論

**Q** 支所廃止方針の表明から議案提出までの期間が短く、市民の声を十分に聴けなかったのでは。寄せられた多数のパブリックコメントが全く聞き入れられていないのでは。

**A** さまざまな手法、手段で市民から意見を伺い対応策を講じるなど、丁寧な対応に努めた。

**Q** 支所廃止後の対応策の市民周知が不足している。対応策を出しても市民の声が大きく変わっていないことを受け止めるべきでは。

**A** 多くの方々にご理解いただけているもの、今後もさまざまな意見を伺いながら、より良い対応ができるよう努めていきたい。

※委員会における議論は、2月下旬に更新される会議録でもご確認いただけます。



**Q** 支所廃止に黙認という市民は一定数いるのでは。

**A** まずは、お寄せいただいた意見を丁寧に伺った上で、対応策を講じたものである。

**Q** 議論当初から廃止後の削減効果や財源の使い道を示すべきだったのでは。

**A** 削減効果ありきの方針ではなく、あくまでも取扱件数の減や代替システムの整備による廃止である。

【これまでの経緯】

- ・令和3年12月、3支所1分室を廃止する方針が市から示される。
- 多くの議会議論や各会派からの要望
- 令和4年12月定例会
- 必要な対応策をとった上で廃止が決定

対応策の一つである、市有施設や商業施設へのマルチコピー機7台の導入に係る補正予算が可決

釧路市林活議連  
森林整備およびシカの囲い  
わななどを視察

森林・林業・林産業の振興および地域の活性化に向けて各種事業を行う「釧路市議会森林・林業・林産業活性化推進議員連盟」(全議員で構成)では、10月5日(水)に森林保全事業等を行う「一般財団法人前田一步園財団」を視察しました。森林保全の取り組みやシカの囲いわな等について説明を受け、天然生林、エゾシカによる食害状況、樹皮被害から守るためにネット巻きされた樹幹、シカの囲いわな等を視察しました。財団が行うさまざまな事業が、自然環境を保全するための活動の普及につながることを期待できます。



党派略称説明

自政ク 自民市政クラブ  
創志会 創志会

公明党 公明党議員団  
共産党 日本共産党議員団

市民連合 市民連合議員団

令和4年第5回12月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(承認)となったもの(14件)

市長提出議案		議員提出議案	
予算	令和4年度 国民健康保険阿寒診療所事業特別会計補正予算	条例	手数料条例の一部を改正する条例
	令和4年度 動物園事業特別会計補正予算		高齢者生きがい交流プラザ条例の一部を改正する条例
	令和4年度 病院事業会計補正予算		病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
	令和4年度 水道事業会計補正予算	その他	市道路線の認定の件
	令和4年度 下水道事業会計補正予算		専決処分報告の件
条例	議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例		
議員提出議案			
意見書	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書(提出先:厚生労働大臣)		
	带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書(提出先:財務大臣、厚生労働大臣)		
委員会提出議案			
意見書	子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)		

◎ 賛否が分かれたもの(4件)

○賛成 ×反対

市長提出議案		議員提出議案					審議結果
件名	会派名[( )内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5)	市民連合(5)	創志会(4)	共産党(4)	
予算	令和4年度 一般会計補正予算	○	○	×	○	×	可決
条例	支所設置条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	可決
	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	可決
議員提出議案		議員提出議案					審議結果
決議	市長問責決議	×	×	×	×	○	

◎ 請願・陳情(3件)

○採択 ×不採択

件名	会派名[( )内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5)	市民連合(5)	創志会(4)	共産党(4)	審議結果
陳情	農業生産資材高騰対策を求める件	○	○	○	○	○	採択
	子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める意見書の件	○	○	○	○	○	採択
	農業生産資材高騰対策を求める件	○	○	○	○	○	採択

※自政クの議員数は9人ですが、松永議長が採決に加わっていないため8人としています。



95名の皆さまとおしゃべりしました!  
(議会報告会を開催しました)

10月28日から11月4日までの間、市内5会場で開催し、延べ95名の皆さまにご参加いただきました。報告会の前半では、9月定例会での質疑・一般質問や、各委員会での審査内容を一問一答の形でまとめたものと、「津波対策」および「市立小中学校のあり方」についての直近1年間の議会議論を紹介しました。

後半は、初めての試みとして、議員と参加者の皆さまが2、3組のグループに分かれて、テーブルを囲んでさまざまなお話をしました。どのテーブルでも次々に発言があり、あっという間に終了時間となりました。参加者の皆さまからは、「普段議員と話す機会がないため良かった」など、おおむね好評価をいただいたところです。

なお、開催結果などをまとめた報告書を市議会ホームページで公開予定ですので、ぜひご覧ください。(右下のQRコードから過去の開催分も含めてご覧になれます。)



▲グループ懇談の様子(中央図書館)

議会報告会の開催結果の報告書はこちらのQRコードから→



姉妹都市親善訪問

10月12日(水)から14日(金)の日程で8名が鳥取県鳥取市を、10月24日(月)から26日(水)の日程で9名が秋田県湯沢市を公式訪問しました。

令和5年には姉妹都市提携60周年を迎えることから、これを機にさらに友好の絆を深め、末永く交流していくことを確認しました。



鳥取市長表敬訪問



湯沢市議会表敬訪問